

えどじょうそうがまえ
江戸城惣構

周囲：約60km、東西：約6km、南北：約3.8km

本丸の外側に幾つもの濠を巡らして曲輪をつくり、さらにその外側に外濠をめぐらし、城下町を区画したのが江戸城惣構です。東を墨田川までとしましたが、明暦の大火後に両国橋を架け、江戸は本所・深川へ・・・
さあ！ 江戸城の守られた文化財と失われた歴史遺産の、

再発見につなげましょう！



＜主な江戸城跡の歴史遺産＞

公開地域 本丸・二の丸・三の丸跡（皇居東御苑）

- 番所：同心番所、百人番所、大番所
- 櫓：富士見多聞櫓(内部公開)、富士見櫓周辺
- 城門：外桜田門、田安門、清水門（国重要文化財）、大手門、平川門、北桔橋門、乾門、下乗門跡、中の門跡、中雀門跡(枯梗門、坂下門、西の丸大手門)
- 堀と石垣：江戸城内曲輪の堀と石垣が良好に遺存する他、天守台等本丸周辺石垣

- 二の丸庭園と諏訪の茶屋
- 明治期の吹上にあった茶屋を移設
- 明治時代の遺構 二重橋(皇居正門石橋と鉄橋)、枢密院など
- 展示施設：三の丸尚蔵館など
- その他：江戸城外堀跡（牛込-赤坂門）、常盤橋門跡

出所：江戸城新三十六御門重ね絵図【作図・著者：木下栄三(絵空) 発行者：木下栄三 発行所：有限会社 エクー】
※2018年6月一財）江戸・東京歴史文化ルネッサンスの会が提供する資料以外のご利用はお控えください。

※ホームページ掲載用に、「江戸城新三十六御門重ね絵図」部分を加工しております。絵図の詳細については、事務局までお申し付けください。